

休眠預金活用事業 2024 年度通常枠

「医療と介護/福祉の架け橋が、命を守り・心を救う」
～多職種連携チームで、被災地の急性期から慢性期へと支援をつなぐ～
一般社団法人 KISA2 隊

採択団体および事業概要等の詳細

審査の結果、2 団体を助成対象(実行団体)として採択いたしました。
各団体の事業名、事業概要、助成金額等は以下のとおりです。
※助成額は実行団体から提出された事業計画書・資金計画書に基づき算定しています

| | |
|---------|--|
| 団体名称 | 特定非営利活動法人 Yokotter |
| 対象地域 | 秋田県横手市、由利本荘市 |
| 申請事業名 | スマートな多職種連携と強靱な事務局基盤が支える平時災害時共通の BCP システム構築事業 |
| 申請事業の内容 | 秋田県横手市・由利本荘市において、医療・介護・福祉の多職種連携を平時・災害時双方で円滑に行えるよう、地域 BCP（連携型 BCP）の策定と情報共有基盤の導入を推進します。在宅医療やオンライン診療のマネジメントシステム、地域社会資源マッチング等の仕組みを開発し、日常業務の効率化と災害時の受援力強化を同時に図ります。地域の医療・介護・福祉関係者や行政、防災部局、NPO 等が連携し、多職種連携の研修や BCP 研修や災害時想定訓練、今回開発するシステム運用実証実験等を地域内で積極的に実施し、地域の中で確実に機能する BCP 体制を構築。事務局となる NPO が組織基盤をさらに強化し、強靱な地域連携基盤と管制塔機能を構築することで、高齢者・要介護者・在宅医療利用者とその家族、さらには地域住民全体を対象に、災害時でも途切れず支援ができる体制や受援力の高い体制を実現します。情報共有基盤などのシステム開発については、関係者とエンジニアが現場とともに連携しながら、オープンイノベーション型でのアジャイル開発を実施。現場の声を反映したオンライン診療システムや情報共有ツールを開発するほか、官民連携によるオープンデータの活用や地域社会資源の可視化・マッチングができる機能を開発し、コミュニティベースの復旧・復興を迅速化。多職種が協働する新たな防災・減災モデルを課題最先端地域の秋田・僻地で実装し、日本各地への波及も図ります。 |
| 選定理由 | 情熱にあふれた活動姿勢と高い IT 活用力に加え、安定した法人運営基盤を有している点を高く評価した。地域の強固なネットワークを持ち、DX 推進においても豊富な知見を持っている。特に具体的な DX 事業計画と充実した事務局体制が整っており、他団体への良質なノウハウ共有や波及効果も大いに期待できる。KISA2 隊事業との連携によるさらなる発展性を見込み、採択とする。 |

| | |
|---------|---------------------|
| 助成予定金額 | 40,540,000 円 |
| 助成総額の内訳 | 直接事業費: 38,224,000 円 |
| | 管理的経費: 1,116,000 円 |
| | 評価関連経費: 1,200,000 円 |

| | |
|---------|--|
| 団体名称 | 一般社団法人てととココロ |
| 対象地域 | 熊本県熊本市 |
| 申請事業名 | 地域をつなぐ人々の架け橋が、命を守り・心を救う |
| 申請事業の内容 | <p>当団体所在地域の連携を強化するとともに、局地災害や南海トラフ地震などの広域災害に備え、医療/介護/福祉等の多職種が広域=行政区域を超えて連携できる体制を構築します。その実現に向けて、九州における災害時の包括的支援のハブ拠点(後方支援拠点)としての機能を確立します。また、平時には防災や地域交流や啓発活動などの場として利用します。</p> <p>具体的には、医師、看護師、介護支援専門員、介護福祉士等による包括的支援チームを育成/編成し、災害時には行政区域を越えて活動できる体制を構築するとともに、平時からの「顔の見える連携」を強化します。</p> <p>また、地域の実情に応じた地域 BCP(連携型 BCP)を策定し、行政区域を超えた外部支援の受入れ調整を担う人材を育成します。これにより、被災地の受援力を強化し、局地災害および広域災害のそれぞれの特性を踏まえた効果的な支援体制を実現します。</p> <p>本事業は行政主導では組織間の調整や既存の枠組みにとらわれ、迅速かつ効果的な体制構築が困難な状況にあります。県内最大規模の多職種ネットワークと豊富な活動実績を持つ当団体だからこそ、地域や組織の枠を超えた連携体制を構築でき、行政・医療・介護・福祉の各分野をつなぐ柔軟な調整が可能となります。これらの強みと取り組みを通じて、九州における災害レジリエンスの向上を実現します。</p> |
| 選定理由 | <p>活動実績が豊富でエネルギーも高く、地域の多職種連携ネットワークがしっかりしている点を評価した。現状は任意団体のため管理・コンプライアンス体制や財務面に懸念は残るが、その整備費用を予算化しており、KISA2 隊事業による支援で体制強化が期待できる。地域に根ざした取り組みと地域 BCP 策定への高い意欲があり、活動基盤が拡充される可能性を評価し、採択とする。</p> |
| 助成予定金額 | 34,650,000 円 |
| 助成総額の内訳 | 直接事業費: 28,050,500 円 |
| | 管理的経費: 2,444,000 円 |
| | 評価関連経費: 1,650,000 円 |